

「食に関する指導」を行う上では、実施する教科等の目標と食に関する指導の目標の両方を同時に達成させることが重要となります。そのためには、実施する教科等のねらい（学習指導要領解説等）を十分に理解して、1時間の授業を構成することがポイントとなります。具体的には、授業のどの場面において、どんな内容（食に関する指導内容）を指導していくか十分に練り上げていくことです。

また、栄養教諭等とのチームティーチングやゲストティーチャーを活用した授業を実施する場合には、担当者と事前に綿密な話し合いと、ねらいを明確にした計画が必要です。そして、授業のイメージを共有した上で実施することにより、授業の成功が確実なものになります。

子供達にとって、ワクワクするなどの好奇心や期待感を高め、切実感と必要感のある授業を実施できるよう資料をご活用ください。

学級活動の授業では！



★対象学年：〇年〇組 題材「給食をしっかりと食べよう！」

(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全

キ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
(中学校は ケ)

【授業実施の手順】

第1に

子供達の実態を把握する！



担当（担任）

- なんだかこの頃、給食の残食が増えてきたな・・・
- 給食の好き嫌いが多くなってきたぞ・・・
- 日記帳に、〇〇さんは「給食が食べきれなくて悩んでいる」と書いてあったぞ・・・

★こんな実態や情報をもとに、年間指導計画に従って食育を確実に実施しよう。

★もう少し、詳しい実態を調べてみよう！「食生活アンケートの実施が必要だな」



〇年〇組 食生活アンケート(例)

- 1 朝食は食べますか？
- 2 どんなものを食べていますか？
- 3 給食は好きですか？
- 4 どんな食べ物が嫌いですか？

※各校の実態を踏まえて、ねらいを明らかにし、調査したい内容を項目に掲載する。

第2に

実態をもとに授業を構成していく！

※ 「このままではまずいな。」
「なんとかしなくては。」と思えるような、子供たちにとって切実感・必要感を持たせることが大切！

★アンケートの結果、野菜嫌いが多いことが分かった。野菜を含めて、バランスよく食べることを指導していこう！
食に関する目標の「心身の健康」をねらいとして授業を作ってみよう！



チームティーキングを実施する前に事前の打ち合わせを



★授業の流れを考えよう！



栄養教諭

①導入・・・アンケート結果をプレゼンを活用して発表

②展開・・・本日の給食の実態を説明

担当(担任)

●各種資料の作成など(資料過多は禁物)



※T、Tで行うことを整理しよう！

- ・給食の実物を用意しよう
- ・使われた食材を用意しよう
- ・資料を使って食材の説明をしよう
- ・今日の給食を作るにあたって、調理員の思いを手紙(VTR)で用意しよう

●調理員への連絡と、話してもらいたい内容を事前に伝える。

●特別活動では、話し合いをもとに自分の考えをまとめることがポイントです。集団で考え、各自が数字を入れる等具体的な実践目標を決めることが重要です。

- ※話し合いは、どの場面でさせよう？
- ※展開の指導の順序は、これでいいかな？
- ※栄養教諭等との話し合いはいつ行おうかな？



③終末・・・給食でどう頑張るか？ 家庭でどう頑張るか？
実践目標を決める。(自己決定)

担任・・・プレゼンは私が作ります。

栄養教諭・・・食材の栄養についての説明は、10分位かかるので、展開の中盤で説明させてください。資料も用意します。

担任・・・話し合いの時に、巡回してアドバイスをお願いします。

栄養教諭・・・終末で、給食との関連の話をしてもいいですか？

※必要に応じて、再点検しましょう。

※授業構想ができたなら、実際授業を行っているつもりでイメージしてみましょう。

第3に 授業実践してみよう！

※話し合いで友達も嫌いなものがあるけど頑張っていると言っていたから私も頑張って食べようと思った。



※記録カード等を活用して取り組めます。

※授業を受けて、いろいろな物を食べなきゃいけないんだなとわかった。

- 「よくがんばって食べたね・・・」
 - 「苦手なものも少し食べたね・・・」
- ※教師や保護者から、認め励ますことで意欲が高まります。

第4に 授業後は、給食の時間等1週間程度の期間を決めて確認・評価！

食べてみたら、結構おいしいし、これならこれから食べられるようになるかも...(家庭の協力が大切)

※事後の指導が大切！